

広島県に行つて
私は、広島県に行つて印象に残つたことが
三つあります。
一つ目は、広島平和記念資料館です。資料
館では、原爆投下後の写真や絵、ジオラマな
どが展示されていました。一つ一つを見るた
びにむねがいたくなりました。それくらい核
兵器や戦争は悲惨なことであり、平和は尊
大切なものなんだと感じることが出来ました。
二つ目は、平和記念式典です。式典に参列
しておこらいたことがあります。それは、子
どもが多いということです。私たちと同じよ
うな市の代表の団体が自分が想像していたよ
りも多くて、おこらいたと同時にうれしか
たし、感動しました。式典に実際に参列させ
てもらつて一番印象に残つたことは、子ども
代表の平和への誓ひです。未来が平和になり
ますようにという思いが強く伝わってきました。
むねそううれしました。

田澤 裕美

三つ目は、子ども平和の集いです。平和の集いでは、被爆者の方に当時の広島についてお話を聞いたリ、高校生が今実際に平和へ向けて取り組んでいることの発表を聞いたリしました。まず、被爆者の方のお話についてです。原爆が投下された当時の広島状況を話す。原爆が投下された当時の広島状況を話す。話してくれました。落とされた瞬間は、失明するくらいいいのかもしれない。光が差した後にと、強い爆風がふいたと言っていました。建物に倒れ、自分の体がはさまれた。いたかった。

けど、友達の見えた瞬間に、いたみを感じなくなり、必死で友達の名前を呼び続けました。たと話してくれました。話を聞いているだけでもとても辛いのだから、実際に被爆した方は、言葉にできないくらい辛かったのだと思ういます。もうこのような過ちを二度とくり返さぬよう、みんなで平和の尊さを伝えたいこう、と思いました。次に、平和へ向け取り組んでいることの発表を聞いたおもったことですか。たかさんの発表の中下も特に印象

象に残った発表は、海外に行って平和の尊さを伝えてい
る人の発表です。世界中の人が平和を祈るには、海外の
人に平和の尊さを知らせ、実現させることが必要です。
その人は、それを実行させたい、という思いが、どれだけ
あったとしても、それと大きな行動にさせるのはむずかし
い、と思う。て、いたからです。けれども、この発表を
表で聴いて、私も平和にしたい、という思いを、小さくても
良いから行動に表して、平和への

一歩を踏み出した、と思えました。

私は、広島県での平和学習を通して、核兵器や戦争の悲惨さを
知ることが出来ました。平和な世界になりますように、
少しでも行動に表じていきます。貴重な体験をさせていた
だき、本当にありがとうございました。